

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取東高等学校

重点項目	大学進学	提出日	令和3年2月15日
------	------	-----	-----------

1 学校目標
さまざまな教育活動を通して、21世紀の鳥取そして日本を支える人材の育成に努める。 ①主体性を身につけた、自ら学び自ら考え自ら行動する人を育成する。 ②社会の中で自らの役割を見つけ、一隅を照らすことのできる人を育成する。 ③困難に立ち向かう逞しさ(克己)、他者を思いやる優しさ(親和)、探究する積極性(進取)を持った人を育成する。
2 重点項目に係る目標
将来の夢を語り、高い志を持って自己の将来像を設計し、実現に向けて主体的に努力する力を育成することを目標とする。 鳥取の良さに気づき、将来鳥取に貢献したいと考える人間を育成するためには、鳥取県をよく知った上で、グローバルな視点やSDGs等を踏まえて本県の現状や将来像を俯瞰して眺め考察する必要がある。本校では、キャリア教育の中心に「鳥取学」を据え、本県の現状等を生徒一人ひとりが様々な観点から切り込み探究的に考察するとともに、大学等における学問体系との結びつき等を研究することを通して自己の将来設計の基盤を構築するための様々な仕掛けを実施する。 併せて、思考力・判断力・表現力を一層要求されることとなる大学入学共通テストや二次試験の研究と対策を進め、高大接続と生徒の実態に対応した教育課程による学習指導の充実を図る。 <数値目標> ・国公立大学の現役合格者140人(現状120人前後)、過卒生を含めた難関大学等合格者10人(現状5人前後)を目指す。
3 事業計画(事業名、事業概要)
【高等学校課事業】 ○キャリア教育充実事業 ・キャリア塾「ようこそ高校へ」版 進路意識やキャリア意識を高めるため、各学年の生徒に対して、大学等の外部講師を招いて講演会を行う。 【独自事業】 ○総合的な探究の時間「鳥取学」における取組 ・鳥取学推進事業 進路意識を高め進路目標を明確にするために、1年次では地域の産業界や研究機関等と連携した地域課題解決型探究学習の一環として校外学習を行い、2年次では県内の様々な分野で活躍中の方々を講師として招いて講演会を行う。 ・学部・学科別講演会 2年生を対象に、近隣の大学より学部・学科別に10名程度の講師を招いて講演会を行う。 ○鳥取学充実事業 ・探究的な学習を支える場としての図書館機能の充実を図るとともに、総合的な探究の時間をはじめ、各科目の図書館の活用を図る。 ○教科指導力向上事業 ・大学入試の最新動向(情報)を持つ大手予備校での研修や、教科・進学指導の実績がある県外先進校の視察などを通して、効果的な指導方法や教育課程等を研究する。

※枚数任意